



[エマオ通信]

No.9 (2025 年 4 月 15 日発行)

発行人 高良 研一 (会長)

編集人 稲川 仁 (副会長・事務局長)

発行者 木村 均 (書記)

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 「伝道者養成と教会形成を担う働き」

24/25 年度主題: 「私と教会が元気になるには」

聖句: わたしたちの心は燃えていたではないか (ルカ 24:32)

<メッセージ> 「歳は取るほど、生き生きと！」

松村 誠一 (品川教会)

最近の私の新聞の切り抜きで目立つものは、「定年退職後の生活」「老後生活」についての記事です。それは世の中、高齢者人口が増えているからというだけでなく、私自身が高齢者であることにもよるでしょう。それらを読み返してみると、ほとんどが不安や悩みの記事で、それらにどのように立ち向かっていけば良いか等が記されています。そのような切り抜きを読んでいると、信仰を頂き多くの方々と共に教会生活を送っている私たちは何と幸せなのだろうか、と感謝の思いでいっぱいになります。

今、私は品川バプテスト教会で教会生活を送っています。この教会には高齢者の方々がいらっしゃいます。その方々との交わりの中にいることで、私たち夫婦は大いに励まされ力を与えられています。何しろ、その活力、気力が半端ではありません。それは、その頂いている信仰が確かな信仰だから、と教えられています。

パウロはフィリピの信徒への手紙を執筆しています。その時、60 歳をゆうに超えていました。この 60 歳を超えたパウロが「兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」(フィリピ 3:13-14) と語っています。

私たちは、これからシニアになる方々を含め、確かな信仰をいただいているものとして、目標を目指してひたすら走る教会生活を神様からのプレゼントとして受けとって歩みたいと思います。



<証①> 「主のみ旨のみが」

喜納 史敏 (伊都教会)

「人の心には多くの計らいがある。主のみ旨のみが実現する。(箴言 19:21)」

先頃、礼拝メッセージの聖書箇所として上記御言葉が選ばれました。宣教者は、主の招きに聞き従って神学校へと導かれた方です。この世的には、とても難しい環境の中にあり、神さまの迫りからも逃げようとしたにも拘わらず、主は必要な時に御手を動かされ道を開いてくださった、そういう証を交えてのメッセージでした。

そのメッセージを受けながら自分を振り返ったとき、主の計画は必ず実現するのだと確信しました。というのも、二十数年前に、わたしはオリジナル賛美 CD 制作の計画を立てました。しかし、全く前に進むことはなかったのです。それは、その計画がただの自己実現でしかなく、自分の思いにとどまっていたからです。しかし、神さまは慈しみに富むお方で、一つの気づきを与えてくださいました。思い描いていた計画は、本来、“主の恵みへの感謝のしるし”でなければならなかったのだと。そのときから、心の計らいは、主のみ旨に適うものとされ (そうとしか思えないように)、着実に実現へと向かいはじめました。信仰生活 50 余年の歩みを支えてくださった主の栄光を証しするための CD 制作が、家族や多くの教会員の協力の下で平安のうちに進んでいます。

そのような中、さらなる計画が与えられています。それは、伊都教会の黎明期からの幻であったアドベントホームの建設です。イメージとしては、礼拝堂を備えたマンションと言っても良いでしょう。住人となる教会員は、それこそ教会に住んでいるようなものですから、歳をとっても自分の足で礼拝出席ができるのです。たとえそれが夢物語だと笑われようとも構いません。主のみ旨に適うものであるのなら、それは必ず実現するからです。アーメン。

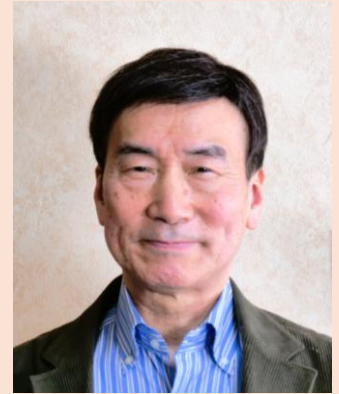


<証②> 「証」

星 文也（赤塚教会）

ヨハネによる福音書 10章16節 「私にはこの囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊も私の声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

私は東京北部の赤塚教会で伝道執事の役割を担い、教会としての地域に対する役割を考えております。1970年代初め日曜学校として子供たちが大挙して押し付けてきたり、米軍近くであったため宣教師による英会話教室に会社員が臨んできたり、安アパートに地方からの大学生が住み、そして教会に訪れたりして、新鮮な驚きのあった時と比較して、現在では教会に何かを求めてくるという事が無くなったように感じます。神の愛を発信することをする事は、昔から難しかったのですが、社会生活や家族生活の中で疲れた心を癒してくれるという場所が、なかなか見当たらなくなった現代に、何らかの癒しの場を与えることが出来ないだろうかと、模索しています。



子供のころの話ですが、夏休みに田舎に帰り、ボーっとしていたところ、村に住む従兄弟達が誘いに来て、近くの山に5,6人で出かけ、樹木に覆われる小さな泉を発見しそこにいた沢カニに驚きながら戯れたり、押し花用に花を採集したり、のこぎりのついた子供用ナイフで小竹を加工して遊んで楽しんでいました。今でもあの時は何という驚きと癒しの時があったのだらうと思います。そんな自然の中でなくとも、発見と癒しの場が、1970年代の時だけでなく今の教会という場所に作れないのだらうかと考えています。

現在私は、品川教会の集会室と牧師館の耐震強化工事をしていまして、リニューアルするその空間の中に、地域伝道に役立てるためには、どのような工夫が出来るだろうかと考えていたところ、若手の壮年の方がとても面白いアイデアを出してくれました。

座って遊べる未就学児エリア、中高生エリアと押し入れの中に本棚を作り、隠れ家のような場所で本を読める小空間。また押し入れの中に机があり静かに勉強できる空間、中庭にウッドデッキと観葉植物の中でお茶などを飲める場所、多目的空間及びカフェの壁に飾り棚や聖書関連の本棚をちりばめる、階段室下の空間を生かした授乳室など今の教会にあまり見られなくなってしまった若い人々やそのご家族が自然に来れる場所などです。その発想に未来が広がるような感覚を覚えます。こんなことを通して自然に教会に訪れることが出来るような、まず地域の人が意識しなくとも、なじめる場所造りをすると同時に、教会の皆も打ち解けるような伝道活動が出来るような空間造りを第一歩としていければと思っています。

<今後の歩みと働きのための祈り>

- ◎今年度、西南学院大学神学部神学科への入学者は1名で、リカレント生を含め、合計7名、東京バプテスト神学校専攻科入学者はゼロで、専攻科生は、合計4名、九州バプテスト神学校専攻科へ6名入学し、専攻科生は合計8名となり、全般的に神学生が少ない状況です。
○皆様の教会・伝道所におかれましては、これらの神学校で学ぶ献身者が新たに起こされますように切にお祈り願います。
- ◎信徒一人ひとりが伝道者、そして献身者となり、教会の働きを担う主体となるために：
○神学校での(オンライン)受講等により、良き学びの機会が与えられるように。
○信徒説教のための学びを深め、無牧師の教会・伝道所等での奉仕ができますように。
○信徒一人ひとりの献身から「教役者の働きを担う献身」へ導かれるように。
- ◎特色と強みを生かした三つの神学校(西南大、東京バプ、九州バプ)と宣教研究所との相互連携により、諸教会・伝道所の各教会員の学びが豊かに祝われますように。
- ◎教会形成を担う働きとしての協力伝道の一環として：
○常盤台教会の五島教会での協力伝道の働き
○福岡連合の姪浜教会壮年会の老岐教会での修養会
○西九州連合の五島教会への協力伝道
○北海道連合の3教会合同WEB礼拝
○中部連合壮年会の福井教会への協力伝道
のように、各教会での協力伝道の取組みや各地方連合やその壮年会を通じて、協力伝道派遣チーム(伝道隊)による、協力伝道の業により、一人ひとりが元気になり、教会が元気になることができるように。
- ◎2025年8月22日(金)～23日(土) 第60回全国壮年大会 in さいたま(埼玉の浦和教会でオンライン併用)
○北関東連合壮年会実行委員長：戸田 浩司(西川口教会)
○テーマ これからの No Border な教会の話をしよう！ ～教会が「教会」であり続けるために～
○主題講演 講師：朴 思郁(日本バプテスト連盟宣教研究所所長、西川口教会牧師)
○多くの参加者(オンラインを含む)にとって良き学びの大会となるよう、準備にあたっている実行委員会のために祈りましょう。
- ◎この4月からの2025年度より神学校献金が、神学生奨学金だけでなく、東京バプ、九州バプの両神学校への運営資金支援(年間350万円)として用いられるので、神学校献金の目標(総額2500万円)達成のために、各教会・伝道所が豊かに取り組めるように。
- ◎8月21日(木)全国壮年会連合定期総会(文書総会)で次期全国壮年会役員(会長、副会長、監査)と奨学金委員長の選任のために。

<お願い>

- それぞれのところで主にあつて頑張っておられる方々やその働きをご紹介ください。エマオ通信でその証を紹介します。
- 第1回壮年大会(1965年目白ヶ丘教会他)開催以来の大会資料をお持ちの方をご紹介しますように。

バッグナンバーは、全国壮年会連合のホームページで見ることが出来ます。
[「エマオ通信」最新号をUPしました。」](#)
[日本バプテスト連盟全国壮年会連合](#)